



市保連 だより

2011 (6月)

〔第409号〕

平成23年6月1日発行
社団法人 熊本市保育園連盟
広報委員会
発行責任者 富永博文
〒860-0806 熊本市花畑町3-1
熊本市花畑別館3F
TEL (096) 322-0096
委員長 清永 ヤヨヒ
委員 村上 恵 逸
委員 稲垣 昇
委員 川口 延 子
委員 石井 福 栄
委員 角 奈二郎



理事会

新法人移行は連盟の組織・事業見直しの絶好のチャンス

熊本市保育園連盟 理事長 富永博文

新法人移行については解りにくいとの声も多く聞かれますので、公益法人改革の経緯について少し述べてみたいと思います。平成20年12月1日公益法人制度改革3法（一般社団・財団法人法、公益法人認定法、関連法整備法）が全面施行になりました。公益法人は基本的には営利を目的とせず不特定多数の人の利益になる活動を行う法人です。公益を主たる事業（公益増進法人）として活動している法人もありますが、業界団体のように会員の利益を求めるための共益を目的に活動している法人もひとくくりにして公益法人といわれていました。税制上も優遇されていて軽減税率が適用され、営利企業との間で不公平が問題視されていました。規模が大きくなると公益性に名を借りて営利追求まがいの存在が目立つようになり不祥事が後を絶たなくなりました。このような問題を解決し、公益法人の健全な発展を促進するよう制度改革が実施されるようになったわけです。

公益法人には、社団法人、財団法人、社会福祉法人、学校法人、医療法人、宗教法人など…がありますが、これらの法人は特別の法律によりルールが規定されています。今回の法人改革の対象法人は、社団法人、財団法人です。この2つの法人は特別の法律もなく民法（私法全体の一般的規定を定める法律）の中でわずかに規定されているだけです。

今回の改革で「一般社団・財団法人法」という特別法によりルールが規定されます。この法律でこれから一般社団法人の運営を営んでいくことになります。

どこがどう変わったかという理事会の機能が強化され、連盟の事業計画・予算について従

来は総会で決議していましたが、新法人では理事会で決議できることになりました。決議の方法では代理人による議決権行使や書面決議、持ち回り決議も認められなくなり理事本人が出席して議決権を行使することになります。



総会の運営も改正され、議決事項は定款に定めている事項又は法令で定められた事項以外は決議することができなくなりました。通常総会は3月と5月に実施していましたが通常総会は5月に実施し、それ以外の開催はすべて臨時総会となります。

連盟が所有している正味財産（積立金、繰越金等）については公益目的事業に限定して消費していくことになります。営利事業をやって多くの利益を上げている法人も多く、税金の恩典を受けて貯めた財産は本来の公益事業に消費させようとの考えのようです。

公益事業に消費する計画を「公益目的支出計画」といい、連盟では「雑草の森」運営事業を対象事業に選定して支出していくこととなります。これからその支出計画を検討しなければなりません。連盟の一般会計の予算も減額になることが予想されますので委員会活動を始め、連盟組織全体の見直しが必要になります。

今までの連盟の組織運営について総点検して、会員にとって必要とされる組織として成長していくために、今回の新法人移行は絶好のチャンスと捉え、会員の皆様のご理解と協力をよろしくお願いいたします。



保育士会

子どもと成長する

おぜき保育園 保育士 栃原志乃

昨年、初めて年長組の担任となり、19名の子ども達を卒園させることができました。私自身、初めての事ばかりで悩みや迷いもありましたが、子ども達の笑顔に支えられ素晴らしい経験を積むことが出来ました。卒園式で見た、子ども達の涙は、一生忘れる事はありません。『保育士』になって、19名の子ども達と出会えて、本当に良かったと思います。卒園後も「せんせーい！」と、会いに来て手紙をくれたりと、私は、とても温かい気持ちになりました。

年度が変わり、今年は、1歳児クラスの担任となり、幼い子ども達とかかわりながら過ごす毎日は、とても充実したものとなっています。言葉や行動のちょっとした成長が見られた時、私たち保育士の喜びは、何にも変えがたいも



のとなります。子どもの考えや気持ちを理解し、共感しながら関わっていくことが大切だと思い、子どもの様子を見守りながら言葉をかけ、“どうしたいのか？”“どうしてほしいのか？”を考えながら保育に携わっています。子ども達との間に、「この先生ならわかってくれる」という信頼関係が結ばれることで、子どもは安定して話を聞き、寄ってきてくれます。はでなパフォーマンスや、経験を積んだ高い技術だけが、子どもとの信頼関係を作るとは限りません。常に、保育者として自分の保育を振り返り、子どもや他の保育士から学びながら、自分を改善していきたいと思っています。これからも、たくさん子ども達と出会い寄り添い、楽しく過ごしたいと思っています。



調理師会

子ども達に囲まれて

水前寺保育園 調理師 荒木智恵子

4月に入園した子ども達も、保育園生活に慣れ食欲もどんどん出てきました。お皿がカラッポになっている時はとてもうれしいものです。

これからも子ども達が喜びそうな献立を一つでも多く取り入れられたらと思います。

園では、年長組さんにリクエストメニューを聞いて毎月の献立に取り入れレシピを出しています。『今日のクッキーは私のリクエストメニューよ』と喜んでお友達に話しています。

私がこの仕事について15年という月日が流れましたが、始めの頃は調理時間に追われ、気ばかりが焦ってゆとりのない毎日でした。



しかし、忙しい給食業務の合間にも、可愛い子ども達とのふれあいは、私にとっては楽しみなひと時でもあります。そして、この子たちの成長は驚くばかり早いものです。

保育園給食の目的は、体力づくりを進めるとともに、食事の正しい知識と習慣を養うことですから、栄養バランスのある給食を基本として、子ども達の嗜好を活かした季節感のあるメニュー作りをしています。

これからも園児達が元気でたくましい人間に成長してくれるように、創意工夫をこらして、おいしい給食作りに努めていきたいと思っています。



園長会

自然の中での学び

わらべ保育園 園長 野田 良治

「この里に 手まりつきつつ 子どもらと
遊ぶ春日は 暮れずとも好し」

この短歌は「良寛」の作品です。

彼は1758年から1831年、江戸後期に生きた人です。偉いお坊さんを目指し、夢半ばにして挫折し、村の小さな寺のお坊さんになりました。

そして、彼は沢山の歌や漢詩を残し、生涯お寺の境内で子どもたちと遊ぶ芸術家であり、今で云う園長先生のような生活をして過ごしました。良寛さんは、私が高校生のころ出会い、心の奥に刻まれました。

そして、現在、自分が保育園で子どもたちと関わっています。

今、じっと目を閉じて時を戻せば私は、小さい頃、神社の境内で近所の子どもたちとよく遊びました。大きな楠やイチョウの木、まるでトトロの森でした。大きい子は中学生から下は三歳位まで、そうですここは村の保育園です。

今思えば実に楽しかった。自然の中で強いものが、弱いものを助け、色々な事を遊びを通して学び合う、正に良寛さんの世界です。暗くな

るまで家に帰らず、それでも私たちは何の心配も無かった様に思われました。

現代は、子どもが、携帯電話を持ち、自動車やバイク等も多くなり、いつ事故が起きてもおかしくない時代。親はむしろ家でゲームをしている方が安全で安心かもしれません。世の中が便利になればなるほど、何か大切なものが失われ、忘れられて行くのでしょうか！私達大人が大切なところで道を間違えたのでしょうか。

しかし、良寛さんは教えてくれました。

「世の中はそう捨てたものじゃないよ」
「まだまだ、いい事が沢山あるよ」そう聞こえた様な気がします。

私の生涯のテーマは自然です。

自然を大切に、心の豊かさ、丈夫な体と食の大切さを、保護者の方々と共に分かち合い、楽しい園を目指したいと思っております。

望みは、子どもたちの「しあわせ」と職員達の穏やかな行いです。



6月の予定

会合	担当年齢	日	時間	会場	研修内容
年令別・実技研修会	0,1歳児	16(木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師:こずえ保育園 園長 福嶋 由美子氏
	1歳児	15(水)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師:ひまわり保育園 副園長 大滝 喜和子氏
	2歳児	10(金)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師:小山保育園 主任保育士 草野 八千代氏
	3歳児	17(金)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師:あゆみ保育園 主任保育士 田中 昭子氏
	4,5歳児	9(木)	14:00 ~17:00	国際交流会館	講師:元ひまわり保育園園長 長井 解子氏
主任保育士・保育士会 合同研修会		4(土)	13:00 ~17:00	国際交流会館	「保育園での安全管理について」 講師:弁護士・社会福祉士 寺町 東子氏
看護師研修会 前期		20(月)	14:00 ~17:00	くまもと県民 交流館パレア	①保育所における保健衛生業務について ②全園児の健康管理について
理事会		7(火)	14:00 ~17:00	熊本市国際交流会館 3F 国際会議室	
園長会		23(木)	14:00 ~17:00	くまもと県民交流館パレア 9F 会議室1	

ご結婚おめでとうございます

- 上ノ郷保育園 3月14日 保育士 甲斐 愛子(旧姓 宮村)
- 小山保育園 5月3日 保育士 徳留 愛美(旧姓 中村)
- せきれい保育園 6月25日 保育士 末松 桂子(旧姓 北里)

平成 23 年度 熊本市保育園連盟研修テーマ

未来を明るく生き抜いていくことのできる「知恵」と「力」を併せ持った子どもを育てよう

〈〈全体研修会〉〉 「保育者の専門性と資質の向上を目指して」

保育研究大会	新保育制度のゆくえを検証する ～健やかな育ちを保障する保育制度とは～
新任保育士等研修会	社会人としての基本的なルールやマナーを学び 保育者としての専門性を高める
主任保育士研修会	専門性を高め、主任保育士としての役割と責務を考える
看護師等研修会	保育所における保健衛生業務について 全園児の健康管理について
特別研修会	新保育制度について考える

〈〈園長会〉〉 「子ども・子育て新システムの動向とその対応を模索しつつ、子どもと保護者と共に歩む保育園のあり方を求めて」

① 時代の変化に対応するため、身近な問題について認識を深め連帯感を高める。
② 保育所の役割や社会的責任を果たすため、園長としての専門性の向上を図る。

〈〈保育士会〉〉 「子ども理解を深める」

保育士全体研修会	①保育園での安全管理について ②一人の学びを園内でどのように広げていくか
リーダー保育士研修会	保育環境を充実したものにするには
対象年齢実技研修会	①保育が楽しくなる手遊び・歌遊び②楽しく取り入れよう体育遊び(以上児) ③未満児のリトミック④絵画遊び(以上児)⑤自然の楽しみ方
保育士調理師合同研修会	子どもの豊かな育ちと食 ～保育の中における食の位置付けについて～
年齢別研修会	子どもをどう捉え、どのように働きかけるのか

〈〈調理師会〉〉 「楽しく食べる子どもに」

調理師全体研修会	“食を営む力”の基礎を培う	
保育士調理師合同研修会	子どもの豊かな育ちと食 ～保育の中における食の位置付けについて～	
ブロック研修会	東	生命と食の尊さを学ぶ ～様々な分野から食を通して生命のありがたさを学び伝える～
	西	安全な食材で楽しい食事を ～食を通じて、いのちの育ちを知る～
	南	給食を通して育もう ～子どもの健康な心とからだ～
	北	安全な食材を使って健康的な体づくり ～楽しく学び、食への関心を育もう～
	中央	給食を通して食事と生活のリズムを整え、 楽しく食べる子どもをふやそう!